

インターロッキングブロック舗装 Technical Report

－ 検査編 － (その3)

Vol.64

1. 合格判定値

(1) 出来形の合格判定値

出来形の合格判定値の例を表1に示します。ただし、平たん性の数値はアスファルト舗装など機械施工の値であり ILブロック舗装など人力施工の場合は容易に満足できない値です。このため、適用除外または当該箇所の管理者が定める数値とすることができます。

表1 出来形の合格判定値の例

工 種	種 別	検査水準A		検査水準B		検査水準C
		個 々	10個平均値	個 々	10個平均値	個 々
路 床	基 準 高 さ (cm)	±5以内	－	±5以内	－	－
	幅 (cm)	－10以上	－	－10以上	－	－
下層路盤	基 準 高 さ (cm)	±4以内	－	±4以内	－	－
	幅 (cm)	－5以上	－	－5以上	－	－
	厚 さ (cm)	－4.5以上	－1.5以上	－4.5以上	－1.5以上	－
上層路盤	基 準 高 さ (cm)	±0.5以内	－	±0.5以内	－	±0.5以内
	幅 (cm)	－5以上	－	－5以上	－	－10以上
	厚 さ (cm)	－2.5以上	－0.8以上	－3.0以上	－1.0以上	－5.0以上
インターロッキングブロック層	幅 (cm)	－2.5以上	－	－2.5以上	－	－3.0以上
	段 差 (mm)	2.0以下	－	2.5以下	－	3.0以下
	平 た ん 性 (mm)	標準偏差 2.4以下				－
	浸透水量 注1 (ml)	300以上	－	300以上	－	300以上

注1 透水性舗装の場合の基準値である。第1種、第2種、第3種第1級および第2級ならびに第4種、第1級の道路の場合は1,000ml以上とする。

注2 平たん性については普通道路、小型道路の場合のみに適用する。

(2) 品質の合格判定値

- ① 品質の合格判定値の例を表2に示す。路盤は検査水準Aに適用します。
- ② IL ブロックの外観検査は、施工時に全数検査を行い、異常のないことを確認しなければなりません。
- ③ IL ブロックの外観以外の検査は 1,000m² に相当する量を1ロットとし、1ロットから任意に 3 個の IL ブロックを抜き取り試験を行い、合格判定値を満足すれば合格とします。この検査で1個だけ適合しないときは再検査ができます。再検査は、そのロットからさらに 6 個の IL ブロックを抜き取って試験を行い、6 個とも合格判定値を満足すればそのロット全部を合格とします。1個でも適合しなければ、そのロット全部を不合格とします。工事規模によってはIL ブロックの抜き取り試験は、工場出荷前に実施することができます。

表2 品質の合格判定値の例

種別		項目		管理水準A	管理水準B	管理水準C
路盤		支持力	FWD	たわみ量 0.8mm以下	—	—
			小型FWD	750MN/m ² 以上	—	—
IL ブ ロ ッ ク	敷砂		最大粒径		4.75mm以下	
			洗い試験(75μmふるい通過量)		5%以下	
			粗粒率(FM)		1.5~5.5	
			細粒化に対する抵抗性		1%以下	—
	目地砂		最大粒径		2.36mm以下	
			洗い試験(75μmふるい通過量)		10%以下	
	IL ブ ロ ッ ク	普通	外観		異常のないこと	
			寸法精度	幅、長さ	±2.5mm	
				厚さ	±2.5mm	
			曲げ強度		5.0N/mm ² 以上	3.0N/mm ² 以上
		透水性	外観		異常のないこと	
			寸法精度	幅、長さ	±2.5mm	
				厚さ	-1~+4mm以内	
			曲げ強度		5.0N/mm ² 以上	3.0N/mm ² 以上
		透水係数		1.0×10 ⁻⁴ m/s以上		
		保水性	外観		異常のないこと	
			寸法精度	幅、長さ	±2.5mm	
				厚さ	±2.5mm	
	曲げ強度		5.0N/mm ² 以上	3.0N/mm ² 以上		
	保水量		0.15 g/cm ³ 以上			
吸水率		70%以上				
路面温度上昇抑制型		路面温度上昇抑制値	普通透水性保水性	路面温度上昇抑制値が密粒度アスファルトコンクリートに対して-11.0℃以上		
視覚障害者誘導用		外観		異常のないこと		
		寸法精度	幅、長さ	±2.5mm		
			厚さ	±2.5mm		
曲げ強度		5.0N/mm ² 以上	3.0N/mm ² 以上			

以上